

2月園だより

令和7年2月1日



どうしたらいいかな

園長 石川 千恵子

先日、4歳児室に行くと、お手玉で遊んでいる子どもがいました。高く投げ上げているうちに、お手玉が天井扇に乗ってしまいました。担任はすぐにとってあげるのではなく、「どうしたらいいかな？」と聞きました。その子どもは材料コーナーに行き、縦30cm、横20cm程に切った段ボールをいくつか取りました。長くつなげて落とそうと考えたようです。セロハンテープで貼りましたが、グニャリと折れてしまいました。困っていると友達に来て、少し重ねて貼ればいいと言って手伝います。セロハンテープは丸めた方がいいのではないか、反対側にもつけようなどと考えを出し合いながら貼り直しました。

完成すると二人で天井扇の下まで運びで持ち上げましたが、上手くいきません。他の友達も集まって来てあれこれ意見を言いながら試しているうちに給食の時間になってしまいました。

食後に挑戦しても段ボールでは取れず、最終的に柄の長い箸を見つけ、「これで取って」と言われた担任が取ったという結末でしたが、自分の考えを出せることや試行錯誤することが大切だと思っています。どうしたらいいかと考える「思考力の芽生え」や友達と協力してやりとげようとする「協同性」「自立性」など幼児期の終わりまでに育ってほしい姿が培われてきていると感じました。これからも子どもたちの成長を見守り支えていきます。



【学納金の集金について】④⑤

☆今月は、2月分3月分の集金となります。

集金日	2/3 (月) 2/4 (火)
集金金額	¥2,000
集金時間	8:50～9:10 16:00～18:30

☆預かり保育料は毎月翌月の月末に引き落としです。

元宿こども園教育・保育目標

主体的に夢中になって遊ぶ

たくましいこども

やさしいこども

かんがえるこども



たくましく成長した姿

第一園舎副園長 板倉 幸子

寒い毎日ですが、園庭からは子どもたちの元気な声が聞こえてきます。

そよかぜタイムの時間にボールを蹴って遊んでいた4歳児が保育者の姿を見ると「先生見て」「応援してくれれば本気出すよ」と勢いよくボールを蹴ってゴールに入ると得意気な表情を見せていました。先日走り縄跳びができたことを嬉しそうに報告してくれた5歳児は、別の日には二重跳びに挑戦していました。縄を勢いよく回しても縄が足に当たって止まってしまいます。「あっ」と悔しそうに声を出しながらも、頑張るぞ、と言わんばかりの表情で繰り返し挑戦する姿に頼もしさを感じました。

各クラスの年度末の保護者会に参加させていただき、一年間の保育を振り返ったり、懇談に交わり保護者の皆さんのお話を聞いたりして子どもたちの成長を共有することができ、嬉しく思っています。

園の教育・保育目標のように心も体もたくましい子どもに成長してほしいと願っています。



2月3日(月)～2月20日(木)

全園児第一園舎で保育します

コドモンでも配信しました通り、園舎統合に向けて第二園舎の工事があります。トイレや給食室の改修、園庭の遊具入替など、大きな音が出たり、作業に数日要したりするため、上記期間中は全園児第一園舎で保育を行います。1、2、3歳児の保護者の皆様も、第一園舎に送迎となります。

ご不便をおかけして申し訳ありませんがご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

知ると分かる。すると変わる。



1歳児りす組

園庭で「まてまて～」と言って保育者や友達を追いかけたり、「いた！」と隠れている保育者を見つけたり嬉しそうにしています。歩くことが楽しくなり、足を高く軽やかに上げて、より遠くへ一歩踏み出そうとする姿もみられます。一人一人の手足の動きや表情から体を動かして遊ぶ心地よさを感じているのが伝わってきます。たくさん遊ぶとお腹が空くようで、給食の食べたいものをはっきりと指差して、「おさかな！」「にんじん！」と言っています。ぱくっと口に入れると頬に両手をあてて「おいしい」と表現して喜ぶ姿もあり、保育者や友達と一緒に食べることを楽しんでいきます。

気持ちを伝えようと、「○○ちゃん」「せんせ～」と呼びかけることや、じっと目を見て声や仕草で伝えようとする姿が増えてきました。一人一人の気持ちや言葉を大切にしていきます。

○生活や遊びの中でやり取りを楽しみ、仕草や簡単な言葉で思いが伝わる嬉しさを味わえるようにしていきます。

○冬の自然に触れながら、保育者や友達と体を動かして遊ぶことを楽しみ、体が温まる心地よさを感じられるようにしていきます。



2歳児うさぎ組

テラスでぱんだ組の子どもが製作をしているのを見つけると「何、作ってるの？」と聞いていました。「凧だよ」と教えてもらい「タコ？」と不思議そうな表情をしていました。出来上がった凧を持って楽しそうに走り回るぱんだ組の子どもを見て「あれ、ほしーい！」「作りたーい」と話していたので、次の日、凧が作れるように準備をしておきました。子どもたちは喜んで色を選んだり、シールを貼ったりしました。出来上がると「行ってきまーす！」と元気に園庭に飛び出して行きました。保育者も一緒に凧を持って走ると「飛んだー！！私のも飛んでるー！」と嬉しそうな声が聞こえました。

しばらくすると凧についている糸を側溝の穴にたらし、「魚、いるんじゃない？」「でも暗いよ、音がする」とかわいい会話が聞こえてきました。どうやら魚釣りをしているようです。「魚、いた？」と保育者が尋ねると目を輝かせて側溝の穴を覗いていました。

好奇心から、身近な大人や友達のやっていることにも関心を示すようになってきました。保育者と一緒に一人一人が自分のやりたいこと、やってみたいことを十分満足して遊べるようにしていきます。

○様々な遊びを通して保育者や友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようにしていきます。

○冬の自然に触れたり、戸外で体を動かしたりすることを楽しんでいきます。



3歳児ぱんだ組

「凧あげしたよ」「にいと、ママとみんなで遊んだよ」などお休みの間に楽しかった経験を思い出しながら自分の言葉で保育者に伝える姿がありました。そこで凧や福笑い、手回しこまなどを作って保育室に置いてみました。凧に気付いた子どもは「あ！これおねえちゃんとやったよ」「(凧)作りたい」と言うので、凧に好きな絵を描き、自分の凧を作りました。出来上がると園庭に出て凧揚げが始まりました。走りながらふり返り、凧が揚がっているか確認したり、「見て～飛んだよ」と揚がっていることを嬉しそうに伝えたりしています。風に向かって走ると、凧が揚がることに気付いた子どもが「こっちあがるよ」と教えてくれました。「さむーい」と言いながらも風に向かって元気に走っていました。

子どもたちは、作る面白さを感じ始め、自分なりのイメージを表現しています。これからも、子どもの表現を温かく受け止め、認めたり共感したりすることを大切にしていきたいと思います。

○寒さに負けず戸外で体を動かして遊ぶことを楽しんでいきます。

○持ち物の始末や衣服の着脱など、簡単な身の回りのことを、自分でできるように見守っていきます





4歳児 ほし組

園庭で凧揚げをした時のことです。高く揚げるために糸を伸ばすと、友達の凧や遊具に絡まってしまいました。そこで“どうしたら糸が絡まらずに揚げられるか”を子どもたちと一緒に考えました。「園庭よりも広い場所がいい」「土手に行ったらいいと思う」という声上がり、土手に行くことにしました。土手に着くと、子どもたちは「ここなら引っかかることもなさそう」「走り放題だね」と糸を自分の好きな長さに伸ばしていました。糸を全部出しきった子どももいて、「雲に届きそう」と空高く揚がった凧を嬉しそうに眺める姿が印象的でした。

糸引きのこま回しにも挑戦しています。回せるようになると「勝負しよう!」と保育者や友達を誘って、誰が1番長く回し続けられるかを競うことを楽しんでいます。負けて悔しいという思いを経験しながら、どうしたら長く回せるかを自分なりに考えているところです。目的に向かって挑戦してみようとする姿を大事に見守り、十分に試すことができる環境を作っていきたいと思います。

- 興味をもったことに繰り返し取り組み、自分なりの目的をもって挑戦する中で、できるようになった喜びを感じられるようにしていきます。
- 戸外で体を動かして遊んだり、冬の自然に興味をもって関わったりしていきます。



5歳児 うみ組

凧揚げ、コマ回し、羽根つきなどの正月遊びを楽しむ中で、自分でも正月遊び遊具を作れるのではないかと作り始めたことをきっかけに、福笑い、羽子板、双六などを手作りして楽しむ姿が見られます。中でもパクパク獅子舞は、一人が作り始めると「それいいね!」と作り方を教え合いながら、たくさんの獅子ができあがりました。保育者が「みんなは本物の獅子舞に頭を噛んでもらえたけれど、第二園舎の友達のところには獅子舞来ていないみたいだよ」と伝えると、「この獅子舞を持って行ってあげるのはどう?」「これなら小さいから怖くないよ!」という言葉が聞かれ、第二園舎に出張獅子舞することにしました。怖がられないか少し心配していた子どもたちでしたが、実際に獅子を持って頭を噛んであげた時の嬉しそうな顔を見て安心したようでした。「鬼もやってあげたら嬉しいかな?」などと次に繋がる言葉も聞かれ、年長児として成長した姿が見られます。自分たちで考え、生活や遊びを進めていけるよう、見守っていききたいと思います。

- 友達と思いや考えを伝えたり認めたりし、共通のめあてをもって遊びや、生活を進めていきながら、最後までやり遂げる満足感を味わえるようにします。
- 冬の自然現象に興味関心をもち、触れたり試したりできるようにしていきます。



そよかぜ

1月は、コマ回し、お手玉、けん玉、双六、かるたなど、伝承遊びを楽しむ中で、「ムーラさんみたいにできるかな?」と、お手玉をやってみたり、けん玉に挑戦して、「サンタさんは、すごかったね」と園にきたサンタさんがけん玉を披露してくれたことを思い出して話したりしていました。簡単そうに見えていたものが、実際にやってみたら難しいことが分かったようです。5歳児は昨年の遊びの経験から、コマ回しを始めました。4歳児は、5歳児がこまに手際よく紐を巻き、勢いよく投げて回す様子に注目し、「紐で投げるとこまが回ってる!」「紐は、どうやって巻くのかな?」と、憧れのまなざしを向けていました。そのうち4歳児がこま回しに挑戦し始めると、5歳児が「こまに紐を巻く時は、ゆるゆるじゃなくてピツリ巻くといいよ」「投げる時は、紐は離さないよ」と教えてあげていました。友達のやってみようという気持ちや思いを受け入れ、自分の経験を伝えようとしたり、励ましたりする姿に、子どもたち同士のつながりや思いやりの心が育まれていることを感じます。これからも、様々な遊びを通して友達と楽しさを共有したり、思いに共感し合ったりしながら、過ごしていきたいと思います。

- 自分のしたい遊びを友達や保育者と教え合いながら工夫し遊べるようにしていきます。
- 異年齢で一緒に楽しい経験をし、つながりを深めていきます。

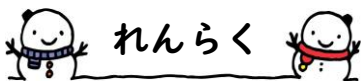




2の行事予定



日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4 保護者会① 子ども安心安全プログラム④⑤	5 保護者会②	6 保護者会④	7	8
9	10 安全指導	11 建国記念の日	12 保育参加・参観 個人面談①②③始 交通安全教室④⑤	13 避難訓練	14 身体測定	15
16	17	18 お別れ遠足⑤	19	20 歯磨き指導④⑤ 給食体験 マイ保育園	21 誕生会④⑤ 新入園児健康診断	22
23 天皇誕生日	24 振替休業日	25	26 親子お別れ会⑤ 保育参加・参観 個人面談①②③終	27	28	



【保護者会】

4日（火）①・5日（水）②・6日（木）④

時間場所につきましては、コドモンのお知らせをご覧ください。

【子ども安全安心プログラム】4日（火）④⑤

子どもを守るための防犯劇場を足立区子ども安全安心プロジェクトの方が上演していただきます。

【保育参加・参観、個人面談】

12日（水）～26日（水）①②③

時間場所につきましては、コドモンのお知らせをご覧ください。

【新入園児健康診断】21日（金）

来年度入園されるお子さんの健康診断を行います。

場所：第一園舎

時間：12時45分～

【お別れ遠足】18日（火）⑤

ギャラクシティで楽しい経験をたくさんしてきたいと思っています。

詳細は後日お知らせします。

【親子お別れ会】26日（水）⑤

修了を迎える親子でお別れ会をします。修了対策委員の方からのお知らせをご確認ください。

職員も共にお祝いさせていただきます。

【感染症について】

このところ、インフルエンザの感染拡大が確認されています。



ご家庭と園とで、手洗いやうがいをしっかり行い感染防止に努めていきましょう。

また、咳・鼻水・発熱等やいつもと様子が違うと感じる時は、登園を控えていただき医療機関の受診をしましょう。

登園許可書は園に取りに来ていただくか、足立区のHPよりダウンロードしてください。

3月の主な予定

3日（月）ひなまつり①～⑤

5日（水）誕生会④⑤

10日（月）安全指導

11日（火）シェイクアウト訓練・入園説明会

12日（水）お別れ会④⑤

13日（木）修了式総練習⑤

14日（金）身体測定

18日（火）修了式④⑤

19日（水）給食体験・マイ保育園

21日（金）新入園児と遊ぶ日④

25日（火）三学期終業式④・進級を祝う日④

26日（水）春季休業日始（短時間利用）④

31日（月）進級を祝う日①②③

